

地域産業の担い手育成総合戦略事業



講習会 SDGs とは



～日本の現状と岐阜県での取組みを知り、行動につなげよう～

■日時：令和4年6月8日（水）

- 目的：・地域産業の担い手育成総合戦略事業の活動の一環として、ふるさと岐阜のSDGsへの取組を理解する。
- ・人口減少の状況とそのことによる経済、文化や生活への影響や課題を知り、課題に取り組むことの意義を学ぶ。
 - ・目指すべき未来について一人一人が自分事としてとらえることの大切さを知る。
 - ・地域資源、地域産業等を学ぶことで、地域とつながりを感じ、未来を作り出すことに貢献しようとする意欲を育成する。

■講師：岐阜県清流の国推進部 SDGs推進課 企画連携係兼SDGs推進係 小野 隆一 様



各クラスに Web 配信



各学科の代表による「SDGs 宣言」

<SDGs 宣言>

「つくる責任 つかう責任」



○私たちは日常の中で、沢山の物を無駄にしていることがある。リサイクルやリメイクをして、それをいかに役立てて使用するかが大切だと思った。意味のあるものを作り、使い続けたいと思った。

○なるべく岐阜県の中で作られた食材をつかって料理する。

○「もったいない」という気持ちを大切に生活をする。



<生徒の感想>

○今、私たちが幸せな背景には影の存在があるのだと思った。これを皆、平等にするためには、今の暮らしを一変させてお互いに少しずつ我慢することが必要ではないかと思った。

○自分の身近なところにも、意外とSDGsに関わる問題があることを知った。でも、それらは一人一人が少しずつ変われば、大きな変化へと繋がっていくので、自分ができることをやっていきたいと思った。現在のよう生きやすい環境を維持していくためには「やった方がいい」のではなく、「やらなければいけない」こと。身近なことから取り組み、よりよい環境を自分のたちの代から次の代へと繋げていきたい。